

2025 年 5 月 20 日

株式会社リミックスポイント

報道関係者各位

リミックスポイント、FIP 転事業開始！ 第一号案件を自社で手がけ事業基盤を確立

株式会社リミックスポイント（証券コード：3825、本社：東京都港区、代表取締役社長 高橋 由彦、以下「当社」）は、当社が始動する FIP 転事業における第一号機として、FIT 制度※1 を活用した既設の太陽光発電所を自社で保有・運用することといたしました。

本発電所は、将来的な FIP 制度※2 への移行を見据えた運用を想定しており、2025 年 7 月頃に着工、2026 年度中の運転開始を目指しております。



※1 再生可能エネルギーで発電した電力を、電力会社が一定期間、固定価格で買い取ることを国が約束する制度

※2 再生可能エネルギー発電事業者が JEPX 等の卸電力市場に電力を売電する際、売電価格に一定の補助額（プレミアム）を上乗せする制度

■FIP 転事業の背景

FIT 制度の導入以降、再生可能エネルギーの導入は急速に進展しました。一方で近年、電力供給が需要を上回る場面が増加しており、JEPX の卸電力市場価格（以下、「市場価格」）の低迷や、供給過多に伴う再エネ発電設備への出力制御の急増といった課題が顕在化しています。

2023 年度は全国で約 18.8 億 kWh※3 の出力制御がかかりましたが、この値は約 48 万世帯の年間消費量※4 に相当します。特に九州本土では、再生可能エネルギー全体で約 6.1%※5 の出力制御が見込まれており、出力制御による売電収入の減少は、発電事業者の採算性を左右する大きな要因となっています。

こうした状況を踏まえ、当社は先立って、九州電力管内において FIP 転事業を推進する方針を固めました。その一環として、自社保有の発電所を活用し、電力需給バランスの調整に貢献するとともに、運用を通じて得られたデータを蓄積することで、本事業スキームの確立を目指してまいります。

※3 参考：資源エネルギー庁「再生可能エネルギーの出力抑制の抑制に向けた取組等について」【参考】再エネ出力制御の実施状況等（2023 年度全国値）

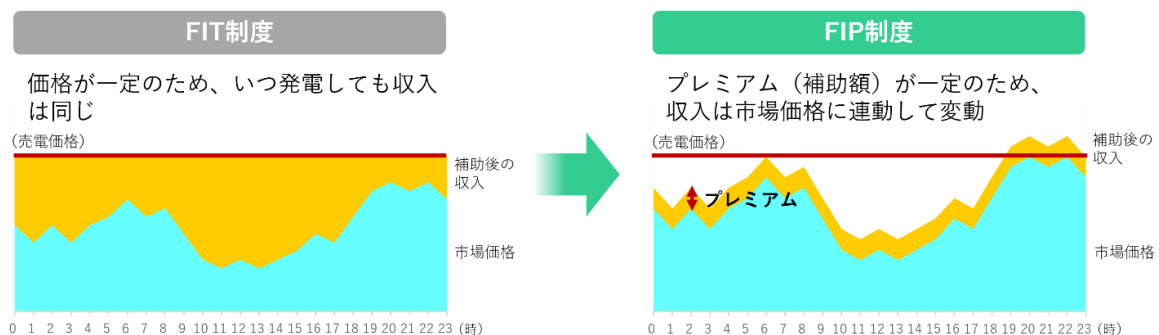
※4 参考：環境省「令和 5 年度 家庭部門の CO2 排出実態統計調査結果について（速報値）」図 1-1 世帯当たりの年間電気消費量（固有単位）を基に算出。

※5 参考：九州電力送配電株式会社「2025 年度の九州本土の再エネ出力制御見通し」

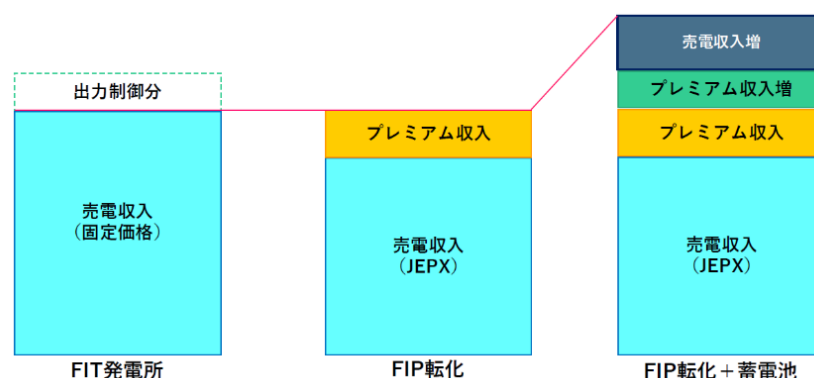
■FIP 転事業の概要

FIP 転事業は、既設の太陽光発電所に蓄電池を設置し、FIT 制度から FIP 制度へ移行することで、発電事業者の収益向上を図るビジネスモデルです。

FIP 制度における売電収入は、①FIT 価格を基にした「基準価格」、②市場価格から算出される「参照価格」、③その差額となる「プレミアム（補助額）」の 3 つで構成され、FIP 移行後も基準価格として FIT 単価が維持されるのが特徴です。



また、出力制御によって売電できなかった時間帯のプレミアムは、他の時間帯に割り当てられるため、調整後プレミアム単価が引き上げられます。さらに蓄電池を併用することで、市場価格の安い時間帯に充電し、高い時間帯に放電することが可能となり、売電収入の最大化が期待できます。



■宇城太陽光発電所の概要

所在地	熊本県宇城市
発電出力	968.5kW
年間想定発電量	900,000kWh
主な追加設備	蓄電池（容量）約 25,000kWh
移行スケジュール	<ul style="list-style-type: none">・蓄電池増設等の設置工事開始（2025 年夏頃）・FIP 制度への移行手続き開始（2025 年秋頃）・FIP 制度への移行完了及び運転開始（2026 年初春頃） ※時期については進捗状況により前後する場合があります

■今後の展望

今回のフェーズでは、当社が自社保有の発電所を活用し、その運用実績を通じて得られる知見やデータを蓄積することで、将来的に発電事業者に対し、具体性と説得力を備えた提案が可能になると考えております。本事業を通じて、FIT 制度下で課題を抱える発電事業者の収益向上を支援するとともに、SDGs 推進企業として電力需給の調整にも貢献してまいります。まずは九州電力管内を対象とし、将来的には順次、事業領域を拡大していく方針です。

■リミックスポイントについて

リミックスポイントは、社会と環境に新しいスタンダードを提供する観点から、事業の一つとしてレジリエンス事業を展開しています。これまで培ってきたノウハウを結集し、企業や自治体が事業成長と社会経済活動を継続的に、また安全に行えるよう、低炭素化と災害時における自家生産自家消費を目指した SDGs や BCP を推進しています。

「エネルギー・環境×防災・減災×事業継続性」をテーマとした、エネルギー商材や蓄電池・非常用発電設備の販売などを総合的に行っています。

【リミックスポイント公式 HP】：<https://www.remixpoint.co.jp/>

リミックスポイントグループでは、今後も SDGs 推進企業としてレジリエンスやエネルギー問題に邁進し、社会の持続性に役立つサービス・事業を実現してまいります。

これからのリミックスポイントグループの取り組みにご期待ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社リミックスポイント
広報窓口

mail：communication@remixpoint.co.jp